|  |  |
| --- | --- |
| タイトル： | 市民開発サポート要員スキル向上トレーニング |
| パーパス： | RPAを活用して組織全体のデジタル変革を推進し、企業価値を向上させる。 |
| ミッション：目的 | RPAを活用した  ①DXマインド醸成およびスキル向上  ②生産性向上による企業価値向上  ③市民開発サポートCoEの増員 |
| ビジョン：目標 | 市民開発サポート要員の育成  ①業務フロー自体を変革するる能力の習得  ②ユーザー開発をサポートできるる能力の習得  ③問い合わせ対応できるる能力の習得 |
| 戦略：ミッションやビジョンを達成するための方針や計画 | ①教育とトレーニングの強化:  市民開発者がRPAを効果的に活用できるよう、体系的な教育プログラムを提供。  ②実践的な学習環境の構築:  理論だけでなく、実際の業務に即した演習を通じてスキルを磨く機会を提供。  ③相互学習の促進:  チーム内での知識共有を奨励し、協力して問題解決に取り組む文化を醸成。 |
| 戦術：手段 | ①マインドセット研修  ②自己学習  ミニロボ（ブラウザ操作、条件分岐、Excel読み書き、データテーブル繰り返し、Sharepoint操作）を自力で作成する。  ③相互学習（ワークショップ）  自力で作成したミニロボの疑問点を教え合う。  ④実践演習  開発フェーズ：禁則事項を踏まえ、自動化に適する業務を発掘し、Studioで無人ロボを開発する。  プレ本番フェーズ：VMで動作を検証、Orchestratorへパブリッシュし手動およびスケジュール実行、デバッグを繰り返し完成させる。  本番フェーズ：設計書とテスト仕様書・報告書を作成する。  ⑤実務教育（OJT）  業務ヒアリングシート起票された業務の開発をサポートする。  問い合わせ対応する。 |
| 体制： | システム開発U  本社：1名（兼務）  東支社駐在：2-4名（兼務）  西支社駐在：2-4名（兼務） |
| スケジュール： | ①-③3か月  ④⑤数年 |
| 技術スタック： | ①UiPath Studio  ②Azure VM  ③UiPath Orchestrator |